

診療情報を用いた乳房再建研究のお知らせ

この研究は、これまでの診療で得られた情報をまとめて調べるもので、新たな検査や治療を行うものではありません。

このお知らせをご覧になり、ご自身やご家族が対象に当たると思われる方で、

- ・研究について知りたいことがある場合
 - ・「自分や家族の診療情報を研究に使ってほしくない」と思われる場合
- には、下記の相談窓口までご連絡ください。

【調査対象となる方】

2016年1月から2028年3月までに当院乳腺外科・形成外科で乳がん手術後の乳房再建手術を受けられた方

【研究課題名】

脂肪注入を併用した乳房再建の安全性と有効性に関する多施設共同後ろ向き研究

【研究の目的・背景】

乳房再建には、皮膚や筋肉を使う方法や、人工物を使う方法など、いくつかの選択肢があります。

近年では、ご自身の脂肪を注入する方法を組み合わせた乳房再建も行われるようになり、見た目や術後の経過がより良くなることが期待されています。

この研究では、これまでに行われた乳房再建の診療情報をもとに、

- ・手術後の経過
- ・合併症の有無
- ・がんの再発に関する安全性
- ・見た目や満足度

などについて、実際の診療結果を振り返って調べることで、それぞれの乳房再建術の有効性・安全性を評価することを目的としています。

本研究で利用する診療情報には、見た目の評価、満足度やがんの再発に関する情報など、身体的・心理的側面に関わる内容が含まれる場合があります。これらの情報は、個人が特定されないよう匿名化した上で研究に用います。

【研究のために診療情報を解析研究する期間】

病院長承認日から2028年3月31日まで

【単独／共同研究の別】

この研究は、関東中央病院を中心として、全国の複数の病院が協力して行う多施設共同研究です。

【個人情報の取り扱い】

この研究で使われる診療情報は、特定の個人を識別番号に置きかえ、お名前や住所、カルテ番号など直接の個人識別情報は除外した形にしてから調べます。学会や論文などで結果を発表する場合でも、個人が特定されることはありません。

【診療情報を院外へ提供する場合】

各協力施設から匿名化された診療情報が、研究の中心となる関東中央病院に安全な方法で提供され、研究責任者のもとで一元的に管理されます。この研究で使う診療情報が、研究に関係のない第三者に提供されることはありません。

【利用する診療情報】

診療録や手術記録に記載されている、年齢や性別、手術の方法、治療の経過、手術後の状態などの情報を使用します。

【研究責任者】

滋賀県立総合病院 乳腺外科 部長 辻和香子

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

この研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

この研究についてのご質問がある場合、
または ご自身やご家族の診療情報を研究に使用してほしくない場合は、
2027年3月31日までに、下記までご連絡ください。
その場合でも、今後の診療で不利益を受けることは一切ありません。

【相談窓口】

滋賀県立総合病院 乳腺外科
研究責任者 辻和香子
電話:077-582-5031(代表)